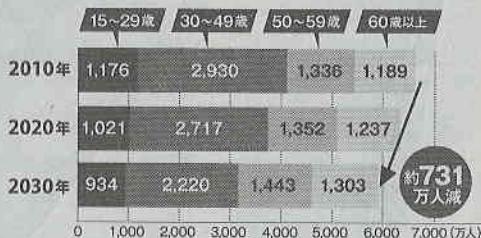


「今」から一緒に作りませんか? 会社とあなたの新しいスタイル。

～生涯現役社会に向けた雇用制度の構築!!～

日本は2005年をピークに人口減少社会に入り、高齢化が進んでいます。2030年には国民の3分の1が65歳以上の高年齢者になると予測され、2030年までの「労働力推移の見込み」では、総人口の減少率よりも労働力人口の減少率が高くなる見込みです。労働力人口の確保のため健康で意欲と能力のある限り、年齢に関わりなく働き続けることができる雇用制度の導入が必要となってきます。



労働力推移の見込み

	労働力人口	総人口
2010年	6,631万人	12,806万人
2020年	6,327万人	12,410万人
2030年	5,900万人	11,662万人

資料出所：独立行政法人労働政策研究・研修機構「平成24年労働力需給の推計」

健康で意欲と能力がある限り年齢に関わりなく、働き続けることができる職場。
会社にとっても従業員にとっても、有意義な新しい職場づくりを考えてみませんか？

わたしたちは、生涯現役社会実現に取り組んでいます。

株式会社シペール 株式会社金魂 三州製菓株式会社 株式会社ウイズネット 株式会社東京紙工 岡山交通株式会社
甲府青果株式会社 東海警備保障株式会社 株式会社仁張工作所 株式会社山豊 ニューヨーク・エボリューション株式会社

「地域別生涯現役社会実現モデル事業」
(厚生労働省委託事業)



公益財団法人 産業雇用安定センター

<http://www.sangyokoyo.or.jp/>

【問合せ先】〒136-0071 東京都江東区亀戸2-18-10 住友生命亀戸駅前ビル5階 公益財団法人 産業雇用安定センター 受託事業部 TEL:03-5627-3725 (代表者)会長 矢野 弘典



企業の皆様へ

少子高齢化や若者の都市部への流出等により、地域の企業では人材確保がさらに困難になってくることが考えられます。人脈や経験を持った社員が年齢に関わらず働く職場づくりが企業にとっても必要です。

またベテラン社員と若手社員を組み合わせることにより、蓄積してきた知識や経験等が若手社員へ伝承され、企業の維持・活性化にもつながると考えられます。

働く方々へ

高年齢者の就業が難しい中で、60歳以上を対象に行なった「いつまで働きたいか」の調査では、7割以上の人人が「70歳以上、働けるうちはいつまでも」と回答しています。(内閣府による「高年齢者の地域社会への参加に関する意識調査」平成20年より)

また「生きがい」や「社会参加」のために就業している方も多い、今後はライフスタイルに合わせた多様な雇用・就業機会が必要になってくることを示しています。

このことから会社と従業員が一緒になり、生涯現役で働く環境づくり、働く人の能力開発、健康管理の推進などに取り組んでいくことが必要となってきます。